

製品名: PAX5 (2F18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15787**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	PAX5
別名	B cell specific activator protein; B-cell lineage specific activator; BSAP; paired box 5; paired box homeotic gene 5; Paired box protein Pax-5; PAX5; transcription factor PAX 5;
遺伝子 ID	5079.0
SwissProt ID	Q02548
免疫原	ヒト PAX5 の合成ペプチド

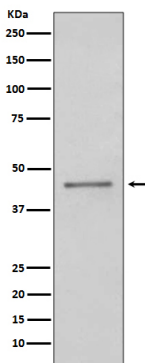
背景

AX5 は、B 細胞の分化、神経発達、精子形成において重要な役割を果たす可能性がある。B リンパ球特異的標的遺伝子である CD19 遺伝子の発現制御に関与する。DAXX と相互作用する。モノマーとして DNA に結合する。TLE4 に結合する。リンパ球前駆細胞の B リンパ球系への分化に重要な役割を果たす転写因子 (PubMed:10811620、PubMed:27181361)。B 系譜に不適切となる遺伝子を抑制し、同時に B 系譜特異的な遺伝子を活性化するという二重の役割を果たす (PubMed:10811620、PubMed:27181361)。結果として、細胞接着と遊走を制御し、V(H)-D(H)J(H)組換えを誘導し、プレ B 細胞受容体シグナル伝達を促進し、成熟 B 細胞期への分化を促進します (PubMed:32612238)。コヒーシオン遊離因子 WAPL の抑制は、プロ B 細胞における染色体構造の全体的な変化を引き起こし、多様な抗体レパートリーの生成を促進します (PubMed:32612238)。

研究分野

-

画像データ



Ramos 細胞溶解物中の PAX5 発現のウェスタン プロット分析。